

一般社団法人 日本小児外科学会
令和7年度第8回定例理事会

日 時：令和8年6月10日（水） 11：00～14：30

会 場：名古屋コンベンションホール 4F 中会議室 408

出席者：家入里志(理事長)、菱木知郎(副理事長)、内田広夫(理事・会長)

小野 滋(理事・次期会長)、加治 建、木下義晶、曹 英樹、田中秀明、平林 健、
尾藤祐子、渡辺稔彦(以上理事)、浮山越史、田尻 達郎(以上監事)、田中奈々(庶務委
員長)、照井慶太(庶務副委員長)、城田千代栄(会長付庶務委員)、山田洋平(財務
会計委員長)、上原秀一郎(財務会計副委員長)、岩村姫花、柴田晶子(以上事務局)

13:00～14:30

淵本康史(第42回秋季シンポジウム会長)、石橋広樹(第44回秋季シンポジウム会
長)、文野誠久(施設認定委員会委員長)、松浦俊治(専門医認定委員会委員長)、石丸
哲也(専門制度庶務委員会委員長)

議事案件：

議 事：

1. 第8回定例理事会の議事録署名人は、木下義晶理事、曹英樹理事とした。

2. 令和7年度第7回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

3. 審議事項

1) 第63回学術集会について(内田会長)

内田会長より学術集会開催にあたって挨拶が述べられ、演題登録状況等について報告された。

会 期：2026年6月11日（木）～6月13日（土）

会 場：名古屋コンベンションホール

主 題：Bright Future for Children

輝く未来へ 小児外科の技術を磨く

同時開催：・WOFAPS regional meeting

・MIS workshop (fee required) （会場：名古屋大学医学部附属病院）

2026年6月9日（火）

2) 第64回学術集会について(小野次期会長)

小野次期会長より、資料に基づき進捗状況の報告があり、承認された。

- ・第64回学術集会のポスターが完成したことが報告された。
- ・開催形式について現地開催のみとするか検討中であることが報告された。
- ・プログラム構成について報告された。
- ・日本専門医機構の領域講習・共通講習や WLB 検討委員会の企画、他学会コラボレーション等について報告された。
- ・他学会との合同企画について、日本医学会連合加盟学会との連携補助金を想定していたが、相手方学会の加盟状況により補助金対象外となる可能性が報告された。
- ・外保連の広報委員会において、形態については学会側に一任するので、外保連と小児外科学会の共同企画を開催してほしいとの意見があり、理事会等でご検討いただきたいとの連絡があったことが報告され、前向きに検討していくこととなった。

会 期：2027年5月27日（木）～29日（土）

2027年5月26日：理事会・評議員会・各種会議

会 場：国立京都国際会館 (<https://www.icckyo.or.jp/>)

会 長：京都府立医科大学小児外科教授 小野 滋

学術集会事務局：京都府立医科大学小児外科（事務局長 文野誠久）

学会運営事務局：日本コンベンションサービス

学会テーマ：Priority はこどもの笑顔のために—小児外科の継承と創造—

3) 第42回秋季シンポジウムについて(淵本秋季シンポジウム会長)

淵本秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 8 年 10 月 31 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

開催形式：会場開催＋オンデマンド配信(共催セミナー、ポスターセッション以外)

HP：<http://psjm2026.umin.jp/>

主催事務局：国際医療福祉大学医学部 / 国際医療福祉大学成田病院 小児外科

運営担当連絡先：株式会社 MA コンベンションコンサルティング

4) 第 43 回秋季シンポジウムについて（加治次期秋季シンポジウム会長）

加治次期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき準備状況が報告された。

- ・趣意書（簡易版）について審議が求められ、承認された。
- ・海外招請講演に対する研究助成制度に応募予定であることが報告された。
- ・日本小児麻酔科学会への合同シンポジウムについて報告された。
- ・8/3 に 2027PSJM、秋季シンポジウム WEB 会議を開催する予定であることが報告された。

日時：令和 9 年 10 月 23 日（土）

会場：久留米シティプラザ

テーマ：食道閉鎖症の診療最前線 —さらなる QOL の改善をめざして—

事務局：久留米大学医学部外科学講座 小児外科部門

第 46 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会運営事務局：西日本企画サービス

5) 第 44 回秋季シンポジウムについて（石橋次々期秋季シンポジウム会長）

石橋次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日時：2028 年 10 月 21 日（土）

会場：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）（予定・仮予約済）

開催形式：現地開催＋オンデマンド配信

HP：<http://psjm2028.umin.jp/>（予定）

主題：脾・胆管合流異常（仮）

6) 社員総会(評議員会)、総会進行手順について(田中奈々庶務委員長)

田中庶務委員長より、総会進行手順について説明された。

7) 次々期会長、専門医制度委員選任について

田中庶務委員長より、選挙結果および投票の詳細が伝えられた。

- ・電子投票化により、従来の現地投票を前提とした規約・運用との間に齟齬が生じていることが報告された。
- ・選挙管理委員、補佐役、立候補・投票手続き等について、今後、専門医制度委員会等で規約修正を検討する必要があることが報告された。

8) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（田中奈々委員長）

田中庶務委員長より、会員資格喪失者からの会員復活希望について報告され、規定に基づき対応することが承認された。

(2) 財務会計委員会（山田委員長）

山田委員長より、令和 7 年度収支決算報告、令和 8 年度収支予算案につき説明があり、承認された。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

文野施設認定委員会委員長、松浦専門医認定委員会委員長、石丸専門医制度庶務委員会委員長より、以下の点について報告、承認された。

- ・新マッチングシステムに関するアンケート調査結果について報告された。
- ・2026 年 2 月 25 日 外科学会サブスペ領域連絡協議会と専門医機構との面談が行われたことが

報告された。

- ・第 63 回学術集会期間中の 2026 年 6 月 12 日朝に「どうする？どうなる？サブスペ専門医制度—専門医制度委員会報告」のタイトルで専門医制度委員会報告を行うことが報告された。
- ・来年度の施設認定委員会について、平日開催の可能性を検討中ことが報告された。
- ・2025 年度の専門医認定委員会活動について報告された。
- ・専門医筆記試験および専門医・指導医申請（新規・更新）審査結果について報告された。
- ・専門医認定における e-learning 受講の取り扱いについて、学会認定専門医の更新条件としての導入を検討することが報告された。
- ・指導医認定基準変更について検討中であることが報告された。
- ・新専門医制度に向けた NCD 検索システム改修に関する追加費用について報告された。
- ・2024 年度小児外科年次報告での不具合の発生について報告された。
- ・第 126 回日本外科学会定期学術集会で 4 月 23 日に開催された特別企画「外科専門医制度はどうあるべきか：各サブスペからの主張」で「少子化時代における小児外科専門医制度と外科専門医制度との連携の重要性」というタイトルで発表をおこなったことが報告された。
- ・6 月 10 日 18 時から開催される専門医制度委員会合同会議について報告された。

（4）機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・62 巻 5 号（2026 年 8 月発行予定）に第 41 回秋季シンポジウム（2025 年開催）記録を掲載する予定であることが報告された。
- ・日本小児外科学会雑誌の著作権帰属に関して、第 18 回理事会メール審議で承認された改訂版の『日本小児外科学会雑誌』投稿時のチェックリストが日本小児外科学会ウェブサイトに掲載されたことが報告された。
- ・日本小児外科学会雑誌第 61 巻 7 号に委員会報告として掲載された「わが国の新生児外科の現状—2023 年新生児外科全国集計—」の訂正記事が 62 巻 4 号（2026 年 6 月発行予定）に掲載予定であることが報告された。併せて、日本小児外科学会雑誌第 61 巻 7 号に掲載されている委員会報告も訂正記事が追記される予定であることが報告された。
- ・PSI JSPS Issue PubCom の開催経緯について報告された。
- ・利益相反（COI）を排除した全委員による投票・集計の結果、本年度（2026 年、第 63 回学術集会）の JSPS 学術集会最優秀論文賞（JSPS prize）について、以下の 2 論文の受賞が推薦され、承認された。

1 位：

論文名：The clinical features and outcomes of acute-on-chronic liver failure in biliary atresia patients on a waiting list for liver transplantation.

著者：Toshiharu Matsuura, et al. （九州大学）

2 位：

論文名：Clinical Utility of Vascular Proximity Metrics on Preoperative CT Imaging in Pediatric Retroperitoneal Teratoma.

著者：Masahiro Fukuhara, et al. （九州大学）

（5）国際・広報委員会（家入理事長）

家入担当理事より、特に報告事項がない旨述べられた。

（6）保険診療委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・令和 8 年度第 1 回保険診療委員会を開催したことが報告された。
- ・シロリムスの血中濃度測定の外注費用問題について報告された。
- ・「地域医療体制確保加算 2」・「外科医療確保特別加算」について、実際の施設での算定可否や対象範囲の確認が必要とされることが報告された。
- ・令和 10 年度診療報酬改定要望項目について検討を進めることが報告された。
- ・今後、会員・施設への実態調査を行い、学会として要望活動に必要な情報を集約する必要がある。

ることが確認された。

- ・令和10年度診療報酬改定に向けた実務委員会活動スケジュールについて報告された。

(7) 教育委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・第4回サマースクールを2026年8月29日にJ&Jインスティテュート東京で開催予定であることが報告された。参加者は医学生16名、初期研修医16名で参加費は医学生5,000円、初期研修医10,000円であることが報告された。
- ・第42回日本小児外科学会卒後教育セミナーを、2027年1月31日に開催予定であることが報告された。
- ・卒後教育セミナーの継続実施については、専門医制度委員会・教育委員会合同会議において承認されていることが報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・小児悪性固形腫瘍診療の実態調査を目的とした悪性腫瘍委員会アンケート調査を施行する予定であることが報告された。
- ・旧悪性腫瘍登録紙資料は電子化アーカイブ保存を基本方針とすることが報告された。
- ・悪性腫瘍委員会は、今後、委員数を絞った少人数体制で活動し、案件ごとに分担・共同して作業を進める運営体制とすることが報告された。

(9) 学術・先進医療検討委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・優秀ビデオ選定について報告された。
- ・第12回理事会メール審議において、「日本小児外科学会認定施設教育関連施設におけるトランジション実態調査申請」が承認されたことが報告された。
- ・下記の3件の学術アンケート調査結果について、委員会で内容を確認後、HPに掲載したことが報告された。
 - 「成人期移行についてのガイドブック第2版、移行期支援の患者サマリー（2022年版）使用実態調査」
 - 「日本小児外科学会認定施設/教育関連施設におけるトランジション実態調査」
 - 「災害医療支援活動への小児外科医の参画状況に関するアンケート調査」
- ・学会HP「小児外科で治療する病気」について、70疾患中35項目を2026年夏頃までに改訂予定であることが報告された。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(11) データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・NCD データ以外のデータ（日本小児外科学会悪性腫瘍登録事業における小児胚細胞腫瘍の全登録データ）を利用した後方視研究の承認申請が提出されたこと、および、審査の進捗状況が報告された。

研究課題名「日本小児外科学会悪性腫瘍登録データを用いた小児頭蓋外胚細胞腫瘍の国際リスク分類に基づく再評価と難治・進行例に対する外科および集学的治療の役割の解明」（申請者：狩野元宏（慶応義塾大学医学部小児外科））
- ・第15回理事会メール審議で承認されたNCD利用複数領域研究課題（浜松医科大学・澤井先生）の第63回学術集会への抄録提出および発表について報告された。
- ・2026年度第1回データベース委員会について報告された。
- ・2026年4月1日（水）～ 4月13日（月）にかけて公募した2026年度NCDデータ（小児外科領域）を利用した後ろ向き研究課題に2件の応募があったこと、および、審査状況について報告された。

- ・2020年に承認された、NCDを利用した研究（複数領域研究）「日本小児外科学会認定施設および非認定施設における小児急性虫垂炎手術の術中合併症と予後」（研究代表者：浜松医科大学 澤井利夫）の研究計画しゅうせいについて審議が求められ、承認された。
- ・2022年に承認された、NCDを利用した研究（後ろ向き研究）「先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術新規導入へのハードル-胆道拡張症手術のNCD-Pデータ解析による腹腔鏡手術導入の指標と導入後の治療成績の推移についての検討-」（研究代表者：藤枝悠希 高知大学医学部外科学講座小児外科）の研究成果の公表（論文投稿）について審議が求められ、承認された。
- ・2025年に採択されたNCDデータを利用した後ろ向き研究（研究責任者：筑波大学産本陽平先生）の退会者・物故者のデータ取り扱いについて、顧問弁護士の入江源太先生の助言を踏まえ、3か月の間学会サイト上でオプトアウトの選択肢を提示した後、データを提供することが承認された。
- ・2022年に承認された、NCDを利用した後ろ向き研究「本邦における先天性横隔膜ヘルニア治療の現状とリスク因子に関する研究」（研究責任者：照井慶太 自治医科大学小児外科）の研究計画修正申請について審議が求められ、承認された。

（12）小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・2026年度PALS講習会開催予定について報告された。
- ・2026年に開催する第63回日本小児外科学会学術集会と第39回日本小児救急医学会学術集会での小児救急医学会とのジョイントセッションについて報告された。
- ・日本小児外科学会ホームページHPに認定施設ならびに教育関連施設の小児救急受け入れ状況を掲載する予定であることが報告された。
- ・災害対策マニュアルの改訂と検討していくべき課題について報告された。
- ・委員会報告投稿予定について報告された。
- ・2026年3、6月に開催された医療事故調査・支援センター「小児の急性腹症に関連した死亡（仮）」部会に、平林理事が参加し、医療事故の再発防止に向けた警鐘レポートを作成中であることが報告された。

（13）トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・「トランジション実態に関するアンケート調査」を2026年6月～7月31日に認定施設・教育関連施設を対象に実施する予定であることが報告された。
- ・第32回日本医学会総会で成人移行支援に関する合同シンポジウム企画について、日本小児外科学会からは座長としてトランジション検討委員会 加治 建担当理事、発表者としてトランジション検討委員会 中目和彦委員長、武之内史子委員が予定されていることが報告された。

（14）ワーク・ライフ・バランス委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より口頭で、6月12日17:30から開催されるワーク・ライフ・バランス検討委員会企画パネルディスカッション「働き方改革の“現場の声”を未来へ -アンケート結果から導く、学会としての提言-」について報告された。

（15）規約委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

（16）研究倫理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

（17）NCD連絡委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・6月13日8:00から第1会場において、第12回NCD小児外科領域会議を開催することが報告された。
- ・第63回小児外科学会総会で委員会活動報告として「2025年度Audit報告」「Annual report

2024」の2枚のポスターを掲示することが報告された。

- ・6月15日を要望募集の締め切りとして「NCD 小児外科領域 2027 年改修要望募集」を行っていることが報告された。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・「仙尾部奇形腫診療ガイドライン」の改訂について、委員会内で資料を共有し、協力していくことが報告された。
- ・「小児胃軸捻転症診療ガイドライン」は修正のため HP 公開を一時停止中であることが報告された。本ガイドラインの内容を第 63 回日本小児外科学会学術集会で発表予定であることが報告された。
- ・「腸回転異常症診療ガイドライン」の公開後アンケート調査についての和文論文について、日本小児外科学会雑誌への投稿が完了したことが報告された。
- ・「先天性食道閉鎖症診療ガイドライン」の進捗状況が報告された。
- ・学会 HP 掲載診療ガイドラインの更新について報告された。

(19) 利益相反委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より口頭で回答状況が報告され、COI 回答の未提出者への督促を行うこととなった。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・静脈奇形に対する硬化療法「オルダミン」投与の小児外科医による認定システム資格取得に関して審議が求められ、資格取得システムを導入することが承認された。
- ・日本小児科学会薬事委員会より供給停止予定医薬品・医療機器品目審議の依頼があり、メール審議を行った結果、いずれも代替品で対応可能と判断されたため、日本小児科学会薬事委員会へその旨返答したことが報告された。
- ・保険診療委員会からの依頼を受けて、乳び胸水、乳び腹水に対するサンドスタチンの適応拡大について審議中であることが報告された。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入理事長）

家入理事長より、資料に基づき報告された。

- ・プロクター新規申請があったことが報告され、澁谷聡一先生が承認されたことが報告された。

(22) NCD Audit Ad-hoc 委員会（菱木副理事長）

菱木副理事長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(23) こども家庭庁連絡委員会（仮・Ad-hoc）（平林担当理事）

平林担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(24) 将来計画委員会（菱木委員長）

菱木副理事長より、口頭で、将来計画委員会の名称・関連規則等の表記変更について報告された。

(25) 日本外科学会理事会（田尻監事・尾藤理事・家入理事長）

家入理事長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(26) 四者協関連（家入理事長）

家入理事長より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

9) 2028 年海外名誉会員推戴候補者について

家入理事長より、資料に基づき Paul Tam 教授を JSPS 海外名誉会員として推薦することが報告

され、承認された。

1 0) 令和 8 年度定例理事会・将来計画委員会日程について

家入理事長より、令和 8 年度定例理事会・将来計画委員会開催日程表が提示され、確認された。

1 1) 第 32 回日本医学会総会奨励賞 候補者推薦のお願いについて

家入理事長より、資料に基づき第 32 回日本医学会総会奨励賞 候補者推薦依頼があったことが報告され、推薦できる方がいれば理事会に報告するよう依頼がなされた。

1 2) 地域医療体制確保加算 2 および外科医療確保特別加算の状況について

家入理事長より、口頭で、「地域医療体制確保加算 2」および「外科医療確保特別加算」の状況について述べられ、主に認定施設を対象に保険診療委員会からのアンケートが実施されることが承認された。

4. 報告事項

1) 理事長報告（家入理事長）

(1) 外科関連学会協議会_患者プライバシー保護に関する指針共同名義追加について報告された。

(2) 日本外科学会定期学術集会開催日程のお知らせとお願いについて報告された。

(3) 日本集中治療医学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

(4) 日本臨床検査医学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

(5) 日本手外科学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

(6) 弘前大学大学院医学研究科からの通信文「教授退任・就任の挨拶」を受領した。

(7) がんの子どもを守る会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

(8) 故黒田達夫先生お別れの会実行委員会からの通信文「お礼状」を受領した。

(9) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 427」を受領した。

(10) 日本専門医機構からの寄贈本「日本専門医制度概要令和 7 年(2025 年)度版」を受領した。

(11) 日本内視鏡外科学会からの寄贈本「30 周年記念誌」を受領した。

(12) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 428」を受領した。

(13) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 5 月号」を受領した。

(14) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「2026 年度事業実績報告書」を受領した。

(15) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 5 月号」を受領した。

(16) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ! Vol. 216」を受領した。

(17) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 429」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（家入理事長）

次回定例理事会は令和 8 年 7 月 7 日（火）11:00～16:00 順天堂大学 7 号館 1 階カンファレンスルームで開催する予定であることが確認された。

5. 事業ならびに会計監査報告

浮山・田尻両監事より、令和 7 年度の学会事業・会計および、今後の取り組みについて意見が述べられた。

理事長

理 事

理 事